

早稲田大学 法学部 世界史 解答例

I

- A 設問1-② 設問2-③ B 設問3-③ 設問4-③
C 設問5-② 設問6-① 設問7-④ D 設問8-③ 設問9-④

II

- 設問1-イ 設問2-エ 設問3-イ 設問4-ウ 設問5-ア 設問6-ア
設問7-ウ 設問8-ウ 設問9-ア

III

- 設問1-3 設問2-4 設問3-2 設問4-2 設問5-2 設問6-4
設問7-1 設問8-3

IV

- 設問1-イ 設問2-ニ 設問3-ハ 設問4-イ 設問5-ロ 設問6-ロ
設問7-ロ 設問8-ニ

V

エカチェリーナ2世時代の18世紀後半にクリミア半島を征服し、19世紀に入ってギリシア独立戦争とエジプト＝トルコ戦争に乗じて東地中海進出の糸口を得たが、英・墺の干渉で挫折した。続くクリミア戦争では英仏に敗れ南下政策は破綻した。以後、対外膨張の重点を東アジアに向け、アロー戦争に乗じて愛琿条約・北京条約を清と結び黒竜江以南と沿海州を獲得、ウラジヴォストークを建設した。さらに露土戦争をおこしてトルコに勝利しサン＝ステファノ条約で南下を画策したが、列強の干渉を招きベルリン条約で失敗に終わった。東アジアでは三国干渉によって日本の進出を妨げ、東清鉄道敷設権を獲得、旅順・大連も租借して満州に勢力を拡大した。(299字)